

翻訳サプライチェーン全体を通じたコンプライアンスとデータセキュリティ

RWS Secure Translation Supply Chain
データシート

セキュアなローカリゼーション

ローカリゼーションを組織内でセキュアに一元化する方法は非常に複雑です。

適切な専門知識を持つ翻訳プロバイダーを見つけることと、社外へ送られたドキュメントのデータセキュリティを確保することが必然的に求められ、組織の未公開情報への不正アクセスを防ぐ必要があります。

また、個人を特定可能な情報 (PII) を含むドキュメントを外部の翻訳プロバイダーへ送信する際は、一般データ保護規則の観点で考えなければなりません。

RWS Secure Supply Chain ソリューション

データ保護規則とビジネス効率の両方に対応

データのセキュリティを確保しようとする、多くの場合、ビジネス効率が犠牲になります。PII を扱う負荷が増えると、組織は普段取引しているサプライヤー群を縮小せざるを得なくなります。翻訳サプライチェーンを保護するために、信頼できるサプライヤーや既存の関係や市場投入期間を犠牲にする必要はありません。

RWS Secure Translation Supply Chain は、法規制の順守と翻訳のベストプラクティスを両立する、ベンダーに依存しないセキュアな企業向け翻訳プラットフォームです。当社が提供する先進的な言語テクノロジーにより、用語集が全プロジェクトに一貫して適用されるメリットがあるほか、調達チームに対して支出と利用状況の全体が視覚化され、認可済みのサプライヤー群をニーズに合わせて簡単に調整できます。

法規制コンプライアンスをサポート

翻訳サプライチェーンは、多くの場合、組織のデータコンプライアンスに隠れた弱点があります。マーケティング資料、投資家向け情報、引受業務の文書類などがすべて同じ方法で管理されているためです。

RWS Secure Translation Supply Chain があれば、未公開情報が誤って送信されていないか、インサイダー取引のリスクにさらされていないか、一般データ保護規則の条件に違反していないかを確認する場合のいずれでも、翻訳プロセス全体で完全に監査可能なデータを管理できます。

グローバルコンテンツ戦略にセキュリティを組み込みます。

- ・ **拡張性と柔軟性に優れたアーキテクチャ**：法規制の変更に合わせてセキュリティコンポーネントを追加および削除できます
- ・ **過程管理**：あらゆる分類や地域にわたるデータの完全な制御を保てます
- ・ **管理された環境**：データにアクセスする人と方法を決定できます
- ・ **言語の専門知識**：コンプライアンスを順守しながら、協力してもらいたい翻訳者をスキルセットに基づいて選べます

特長

管理

データへのアクセス権を持つユーザーと、各ユーザーに与えられた権限レベルを管理し、印刷、コピー&ペースト、サードパーティのファイル共有サイトを介した配布を防止します。

優れた操作性

コンプライアンスが複雑である必要はありません。翻訳依頼者は、シンプルで明確な UI を使ってリクエストを送信できます。柔軟な API を搭載しているため、RWS のテクノロジーと各種コンテンツ管理システムを簡単に統合できます。プロジェクトマネージャー用ダッシュボードで、プロジェクトのステータスを一目で確認できます。

合理的

すべての翻訳作業を 1 つの効率的なプロセスにまとめ、手作業をなくします。

拡張性

RWS Secure Translation Supply Chain はモジュール型であるため、1 社から 100 社のベンダー、2 つの地域、または全世界への展開など、組織が設定したペースで展開することができます。

再利用を最大限に活用

コンテンツの再利用を最適化できるため、一貫性が向上した高品質の翻訳が可能になります。ベンダーエコシステム全体で承認済みの翻訳メモリのみが利用されるため、安心して使用できます。一元化された用語データベースに簡単にアクセスできるため、原文から翻訳にいたるまで、一貫した質の高いコンテンツを確保できます。

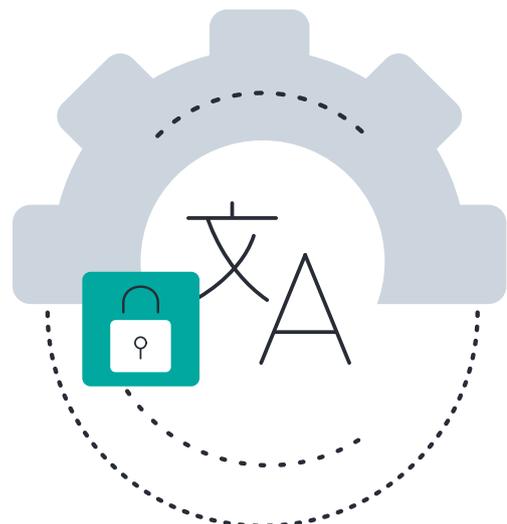
統合

サードパーティ製アプリケーションとのやり取りで発生する翻訳済みコンテンツ（メタデータや参考資料など）の添付やアップロードに必要な手作業が減ります。プラットフォームのオープンで完全に文書化された REST API により、コンテンツ管理システム、ERP、CRM、年次報告書、ファンレポートソフトウェアなどのあらゆるコンテンツリポジトリと統合できます。

セキュリティとコンプライアンスに対応

コンプライアンス違反のリスクを回避します。完全な監査証跡を一元的に保持し、自動化、プロセス管理、アラート、通知によってコンプライアンス違反を回避します。

- ISO 27001 認定
- 保存データの暗号化
- 定期的な内部脆弱性診断
- 侵入検出および予防システム（IDS/IPS）
- 多要素認証
- セキュリティ対策としてのサードパーティ認証
- 地域のホストロケーションとハブを選択可能
- セキュリティ情報およびイベント管理（SIEM）
- 顧客に特化したデータ損失予防



データのアクセス方法とアクセス者の定義 および管理：

- データの分類を問わず、すべての翻訳に対応する一元化されたセキュアなプラットフォームを導入します。
- ベンダーデータベースを拡張して使用したいサプライヤーを追加できます。
- 誰がどのくらいの時間データにアクセスできるかを定義、制限、管理できます。
- 不正な情報共有を防止します。
- 承認済みの翻訳メモリと用語集のみが適用されます。

RWSについて

RWS Holdings plcは、テクノロジーを駆使した翻訳サービス、コンテンツ管理サービス、知的財産サービスを提供するリーディングプロバイダです。RWSは、ビジネスに不可欠なコンテンツを大規模に配信し、イノベーションの保護と実現を可能にすることで、お客様が世界中の人々とつながり、新たなアイデアを提供することを支援します。

私たちのビジョンは、グローバルインテリジェンス、深い専門知識、スマートなテクノロジーを通じて、言語、コンテンツ、市場参入における課題を解決することにより、世界中の人々と組織をつなぐ橋渡しをすることです。

当社の顧客には、グローバルブランド上位100社のうちの90社、製薬会社上位10社、世界中の大手特許事務所20社のおよそ半数が含まれています。また、クライアントベースは、ヨーロッパ、アジア太平洋、北南米に広がり、テクノロジー、製薬、医療、法律、化学、自動車、行政機関、電気通信の各分野を網羅しており、5つの大陸に複数のオフィスを構えています。

1958年に設立されたRWSは、英国に本社を置き、AIM、ロンドン証券取引所規制市場に上場されています (RWS.L)。

詳細については、www.rws.com/jpをご覧ください。

© All Rights Reserved. ここに記載されている情報は、RWS Group*の機密情報および専有情報とみなされます。

* RWS Groupとは、RWS Holdings PLCおよびその関連会社および子会社の代表を意味します。